

みんなおいでよ 2学期に向けてパワー充電!



夏の学習会

誰でも
参加できます
資料代500円

兵庫県障害児学校教職員組合主催

- 日時** 2021年8月29日(日) 13時30分~16時40分
開場13時20分
- 場所** 明石市立勤労福祉会館 明石市相生町2-7-12
JR山陽「明石駅」下車 南へ徒歩10分 明石市役所の南側
- 内容** 第1部 全体会 13時40分~15時30分
テーマ 「義務制42年 これまでとこれから」
★障教組「義務制42年プロジェクトチーム」からの報告
★講演「笑い泣きの障害児教育42年 そしてこれから！」
- 第2部 分散会 15時40分~16時40分
テーマ 「子どものこと・授業のことを話そうよ」
★分散会1 卒業後の子どもたちから学ぶ
★分散会2 実践玉手箱

講演

兵庫のセンセイだった

三木裕和氏(元鳥取大学教授) 大いに語る!

「笑い泣きの障害児教育42年 そしてこれから!」



重心の訪問学級で、但馬の学校で、子どもたちや父ちゃん母ちゃんたちといっしょに「権利としての障害児教育」を創ってきた三木先生です。義務制が実施されて42年間、子どもを発達の実体者として捉え、「できなさの中にこそ人間的営みがある」という丁寧な実践研究のお話は、きっとあなたの心にじわーっと温かく響き、2学期からのパワーがみなぎるはず。ぜひ聞いてください!

第2部は分散会 参加者みんなでワイワイと！

テーマ「子どものこと・授業のことを話そうよ」

卒業後の子どもたちから学ぶ ～「キャリア教育」どうしたら～

仕事辞めたと聞いて驚いたり、毎日休まずに行っていると聞いて感心したり。何が良かったのか、どうしてやったら良かったのか？卒業した子どもたちから学ぶことは多いです。たくさんの卒業生に関わってこられたベテランの先生たちとディスカッションもして、学校での学びや支援についていっしょに考えましょう。

実践玉手箱

～ネタもらっちゃおう～

「この教材良かった」「この曲のペーパーサートよく見てくれた」「この素材を使ったら素敵な反応がみられた」など、授業や教材を紹介しあいましょう。持ち込み大歓迎！写真や指導案でもOK。音楽・図工・かず・家庭科など何でもOK。何が良かったのか、その教材にどんな意味があって、子どもの発達の何に働きかけられたのかなども、深め合いましょう。

参加

申し込み

8月22日までに下記の方法で申し込んでください。

ネット申し込み

障教組(高教組会館)に電話・FAXで申し込み
TEL 078(341)6745

☆「こくちーず」で「障害児教育 夏の学習会」と検索して申し込む

☆メールに「参加します。名前、所属、連絡先(電話、アドレス)」を書いて送る。

Address m08x2nak@gmail.com (中村) 障教組組合員はlineもOK

感染拡大の状況にもよりますが、基本的には会場での実施を考えています。しかし、状況の急変でオンライン実施もあり得ます。申し込み時に連絡先は必ずご登録ください。

FAX 申し込み 高教組 078(351)3185

お名前：	所属：
連絡のとれる電話：	
連絡のとれるメール：	